

# ホツとな地域の話題 -新規就農者編-

名前

雇用1年目 <sup>たけうち</sup>竹内 <sup>まこと</sup>誠  
" 1か月目 <sup>ふくい</sup>福井 <sup>けいた</sup>啓太

雇用就農



## 経営の概要

- ❖ 地域 深川市
- ❖ 品目 水稲、そば、にんにく等
- ❖ 就農先 株式会社寶利農場  
代表取締役 <sup>ほり</sup>寶利 <sup>やすまさ</sup>靖必  
取締役専務 <sup>そう</sup>僧都 <sup>こうへい</sup>航平 (就農9年目)
- ❖ 前職 運送業、飲食業  
などの民間企業

## 就農しようと思ったきっかけ

(僧都さん)運送、飲食業を経て友人の紹介で当農場に就農。農業者の減少が著しい状況は商売のチャンスと考えた。

(竹内さん)中学生の時に酪農の番組を見て農業に興味を持ち、農業系の高校、大学へ進学、農業資材販売会社に就職。その後、就農フェアで出会った新規就農相談窓口を通して、当農場で研修。**当農場では休日・昇給等の就業規則が明確に定められており、会社の将来ビジョンも明確だったことから、従業員として安心して働けると感じて就農を決めた。**

(福井さん)学生時代に当農場でアルバイトをしていた。卒業後、東京で3年間飲食・建築業に従事してからも、当農場の従業員と個人的な付き合いが継続し、転職を考えた際、当農場の雰囲気良かったこと、冬期間の給与保証や休日数に魅力を感じたことから就農。

## 就農してよかったこと・苦労したこと

(竹内さん)仕事を覚える等一般的な転職者が感じるような苦労はあるが、それ以外は一般企業に就職するのと変わらない。

(福井さん)日本人で主食である米が嫌いな人はほぼいない。**皆が日常的に食べる米作りに携わることによりやりがいを感じている。また、生産した米を自ら評価し来年に活かすなど、成果が見えやすい点が面白い。機械の操作が難しいが、丁寧に教えてもらえる。**

## 今後の展望

(僧都さん)長期的な目線で社員教育を行い、雇用環境を安定させることで、定年まで働くことができる法人を目指していきたい。

(福井さん)冬期間、自分たちが栽培した農産物を加工・販売するのが夢。雇用の安定が確保され、安心して働けるからこそ、新たな事業を考える余裕ができている。皆で会社を大きくしていきたい。